



朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校

令和7年 7月 18日(金)

1学期終業式号 児童数 411名

TEL: 048-466-4481

<http://www.asakadai9shou.city-asaka.ed.jp>



【学校教育目標】 「心豊かでたくましい人間の育成」

すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

【めざす学校像】「元気なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」



「思いやりの心を育む夏休みに！」

校長 小林美加

本日、1学期が無事に終了しました。子供達は新しい学年での生活にも慣れて、多くの成長を見せてくれました。通知表(みのり)には、学習や生活の評価だけではなく、一人一人の良さや、頑張り、できるようになったことなどが書かれています。ご家庭でも一緒に1学期を振り返り、子供達の良かったところを、たくさん褒めていただければと思います。

さて、終業式では、子供達に「**思いやりの心**」について話をしました。

『**心**』は誰にも見えないけれど、『**こころづかい**』は見える。『**思い**』は見えないけれど、『**思いやり**』は誰にでも見える。東日本大震災以降、ほとんど毎日、テレビで流れていた公共広告機構ACジャパンのCMです。映像では、高校生が電車の中で妊婦さんに席を譲ろうか考えている間に、他の人が席を譲るシーンと長い階段をおばあさんが登る姿を見て手助けをするシーンが流れ、私の心にも強く残っています。詩人で作詞家の宮澤章二さんが作った「行為の意味」という詩の抜粋ですが、最後には「**あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき 『心』も『思い』も 初めて美しく生きる—それは 人が人として生きることだ**」と結んでいます。そこで紹介したのが、「江戸しぐさ」という考え方です。これは、昭和の時代に江戸の町人の暮らしぶりをもとに、現代に伝えられた“思いやりのしぐさ”だそうです。実際に江戸時代に行われていたかどうかは定かではありませんが、人を思いやる行動の大切さを伝えるものとして、道徳の授業等でも資料として扱うことがあります。

たとえば、【**こぶし腰浮かし**】乗合船で後から来た客のために、先客が腰をこぶしひとつ分ほど浮かして座ることができるように詰めるしぐさ。【**肩引き**】狭い道ですれ違うとき、相手にぶつからないように、お互いに片方の肩を後ろに引き、体を半回転ひねってすれ違うしぐさ。【**傘かしげ**】細い路地など、傘をお互いに差したままでは通りにくいので、お互いが傘を反対側に傾けて通りやすくするしぐさ。【**時泥棒しぐさ**】人の時間を大切に作るしぐさ。約束の時間を守ることもそのひとつです。

これらはすべて、周囲の人への配慮や優しさから生まれた行動です。

子供達には、夏休みの間も、困っている人に声をかける、「ありがとう」を伝える、時間を守るなど、思いやりの気持ちを忘れずに、家族や地域の方々との関わりの中で実践してほしいと願っています。明日から長い夏休みに入ります。夏休みならではの多くの体験を通して、心も体も成長させてほしいと思います。どうぞ、体に気を付けて有意義な夏休みをお過ごしください。

1学期間のあたたかいご理解とご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。